

学校
便り

中種子町立星原小学校

いwashimizu

令和7年度第10号

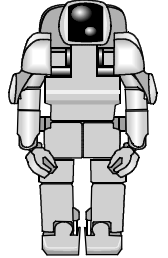
令和8年2月24日発行



ブログ絶賛更新中です↑

「AIと歩む未来、子供と育つ心」

校長 米村 圭史



2014年に当時オックスフォード大学のマイケル・オズボーン博士らが発表した論文『雇用の未来- (The Future of Employment)』は、世界に驚きをもって迎えられました。私は論文を読んだことはありませんが、多くの講演会や研修会で一部内容が引用され、知ることとなりました。

博士の論文は、およそ20年後までに人類の仕事の約5割がAI(人工知能)または機械によって代替され、消滅するだろうという内容のものです。博士の論文を知った頃は、まさかそんな短期間に想像もできないような劇的な変化は起きないだろうと思っていました。しかし、予測された未来が着実に近づいてきていることを認識させられます。スーパーマーケットの無人レジや車の自動運転などが身近な代替の一例です。

また、数年前には、大阪大学の石黒教授らが開発した当時の河野デジタル大臣をモデルにしたアバターロボットが発表され、その完成度の高さに世間が驚かされました。人工知能が搭載され、人間が操作しなくても簡単な会話ができるレベルまで達していました。このロボットは、デジタル庁の広報官として、大臣の代わりに、イベントなどでデジタル化のメリットを説明する役割を担うということでした。

さて、学校の話です。先日、登校してきた男の子が、こんなことを話してくれました。「校長先生、ぼくね、きのう、おうちで勉強したらタブレットの中の先生が『だいじょうぶ』って言ってくれたんだよ」少し誇らしげなその表情に、私は思わず笑顔になりました。

近い未来、子供たちのそばには、学習を支えるAIが、今よりももっと自然な形で存在するようになるでしょう。分からない問題をそっと教えてくれたり、つまずいたときに「もう一回、やってみよう」と声をかけてくれたり。もしかすると、「先生より先にAIに聞いたよ」そんな時代も、もうすぐそこまで来ているのかもしれない。

でも、私は、その未来を少しも心配していません。なぜなら、AIにはできないことが、この学校にはたくさんあふれているからです。転んで泣いている友だちに、そっと差し出される手。給食時間、「苦手だけど、一口食べてみる」とがんばる姿。掃除の時間、誰に言われたわけでもなく、黙々と床を磨く背中。ある日、こんな場面がありました。5年生が、低学年の子に声をかけていました。「それ、おずかしいよね。でも一緒にやろう。」AIなら、きっと正解は教えてくれます。でも、一緒に悩むこと、一緒に考えること、そして“寄り添うこと”は、まだ人にしかできません。近い未来、AIはますます賢くなるでしょう。でも、人の心まで代わることはできません。だから、学校はこれからも人と人が出会い、ぶつかり、支え合う場所であり続けます。失敗してもいいのです。うまく言えなくてもいいのです。時間がかかっても、自分の言葉で伝えようとするのが大切です。AIは便利な道具です。でも、主役はいつの時代も、子供たち一人ひとり。その子の笑顔、涙、がんばり、思いやり——それを見つめ、共に歩むのが、私たち大人(学校)の役目です。未来は、もう始まっています。そしてその未来は、温かい「人の力」で、もっと優しくなると、私は信じています。

今日も校庭には、元気な声が響いています。その声こそが、どんな時代にも負けない、この学校の宝物です。

星原ホームへ行ってきました

3・4年生の児童4名が「星原ホーム」を訪問し、入所されている高齢者の皆さんと交流しました。70年前の学校の様子について貴重なお話を聞かせていただきました。当時の教室の雰囲気や遊び、生活の工夫など、今とは大きく異なる学校生活の様子に、子供たちは興味深く耳を傾けていました。高齢者の皆さんも、自分たちの子供時代を懐かしみながら、語ってくださいました。世代を超えた温かいふれあいの時間となり、子供たちにとって学びと気づきの多い貴重な経験となりました。



ゲーム・インターネットと上手に付き合うために

1月の学校保健委員会では、「ゲーム・インターネットと上手に付き合うために～支援のポイント～」をテーマに講演会を実施しました。講師の指宿竹元病院の看護師・公認心理師である松山裕希さんの講演を、保護者の皆さんに聴いていただきました。講演では、子供がゲームやインターネットと向き合う際に大人がどのように関わるとよいか、具体的な支援の視点についてお話しいただきました。特に、子供の感じていることや価値を大人が受け止め、共感する姿勢の大切さが強調されました。保護者にとって、ゲーム・インターネットを使用する子供たちとの関わり方を見つめ直す貴重な機会となりました。



なわ跳び発表会 頑張りました

2月14日のなわ跳び発表会では、1分間跳びに挑戦したり、これまでに身に付けた技を披露したり、持久跳びに挑戦したりと、子供たちはそれぞれの目標に向かって頑張りました。当日に向けて、朝のうずまき運動や体育の時間、昼休みなど、さまざまな場面で練習を重ねてきた成果がしっかりと表れ、どの子供も自信をもって跳んでいました。



中種子町学力向上対策委員会

2月19日、本校に町内の小・中・高等学校の先生方が約20名来校されました。先生方は、子供たちの元気いっぱいの「こんにちは」の挨拶で迎えられた後、3・4年生の算数の授業を参観してくださいました。子供たちは、いつも通り集中して学習に取り組み、日頃の学びの成果を発揮していました。授業参観後は、町の先生方と一緒に、中種子町の学力向上に向けてどのような取組ができるか、時間が足りなくなるほど熱心に意見を交わすことができました。本校の授業についても、多くの視点からの温かい助言をいただき、授業改善に向けたヒントをたくさん得ることができました。



3月 行事予定

5日(木)	授業参観 PTA・家庭教育学級
6日(金)	お楽しみ集会 お別れ遠足
25日(水)	修了式 離任式

